

第2回過疎集落研究会 議事概要

1. 日時 平成21年1月26日(月) 14:00~16:30
2. 場所 国土交通省(中央合同庁舎3号館) 4階特別会議室
3. 出席者(敬称略、50音順)
座長:小田切徳美
座長代理:岡崎昌之
委員:寺澤健治、広瀬敏通、深井正、藤山浩、前田和彦、牧大介、山本信次
4. 議事
 - (1) 過疎集落における生活安定策等について
 - ①深井委員発表
 - ②前田委員発表
 - (2) 自由討議
 - (3) 論点について
 - (5) その他
5. 自由討議における主な意見
 - 昭和の大合併後の市町村単位でも住民自治を行うには大きすぎるし、また、地域の単位規模を決める際には人口規模ではなく、移動時間等を基準とするべきではないか。
 - 基礎集落(地域)とは、日常的に顔を合わせられる範囲。基幹集落(地域)は、話したことはなくても見たことがあるという程度で、中学校区くらいではないか。合併を否定するわけではないが、今は昔と違い、基礎自治体が住民自治の基本単位ということではないのだろう。
 - 地域コミュニティの面積としては霞ヶ関くらいの規模ではないかと思う。過疎の問題は多岐の分野にわたり、数多くの施策が講じられているが、どこかで束ねないといけない。また、その束ねた施策を活用する受け皿として、分野を横断したマネジメントができる新しい地域が必要。そして、それを支えるヒトが必要。
 - ニュータウンの衰退の問題など、都市も「限界化」しており、ますます農村地域の限界化への対策を急がなくてはならない。
 - 過疎の問題は過密の問題でもある。学生と話をしていても、「地域」のなんたるかを理解してもらえないことも多い。過疎集落と都市とをつなぐ取組が重要ではないか。

- 過疎の問題について、企業のCSRは重要であるし、期待されることも多いが、特に不況では企業のCSRは限定的にならざるをえないため、本質的にはビジネスが過疎集落と関われる仕組みが必要ではないか。
- 地域マネジメントのマネージャーがいることで、地域でできることがまだたくさんあるのではないか。それによって、人口減少、生活環境の悪化という負の連鎖を止めることも可能になるのではないか。
- 適正なコミュニティの規模は、地域によっても異なると思われるが、概ね明治の大合併時の規模（概ね小学校区、基本的に歩いて移動ができる）ではないか。
- 地域と地域のソトを繋ぐことができるヒトをいかに配置、展開できるかが重要だろう。その点について、大学もコミットしていかなければならないと思う。
- 都市からの財政トランスファーについては、最終的には政治が決めることであり、国民の合意を如何に結びつけるかというプロセスが重要である。スイスでも、山間地域における直接所得補償等の政策について当初は反対が多かったと聞いている。
- 過疎集落への支援について、財政制約により裁量範囲も狭くなっており、何もかもというのは無理があって、項目に優先順位をつけるべきだろう。また、どの程度の額のトランスファーが必要かということなど、より具体的に議論すべきではないか。
- 基幹拠点をつくる際に、既存の商業施設等にどれくらい影響を与えるのかによって、合意形成の難易度やプロセスが変わってくるのではないか。
- 過疎地域等は行政コストが高いということで批判される場合もあるが、イギリスやスイスなどの条件不利地域への支援政策はどのようにして合意形成がなされたかを調べる必要もあるのではないか。
- イギリスの条件不利地域への施策は注目しているが、国土数値情報の整備が非常に進んでおり詳細な基準を設定できる。また、お金持ちほど田舎に移住する傾向があり、簡単には真似できないだろう。
- 財政トランスファーについて国民の合意を得るには、過疎集落の衰退指標だけではなく、役立っているという指標を示す必要があるのではないか。
- 輸出主導型の経済が限界を迎えている今こそ、地域を活性化により内需の拡大やヒト・カネの流動化を推進する必要があるのではないか。
- 建設業臨時雇いの特化係数が過疎地域は高いという話があったが、臨時雇いの特化係数が高いこと自体悪いことではないと思う。元来、農林業に加えて臨時の現金収入で生計をたてていた地域である。過疎地域での多職の複合経営は必然ではないか。
- 外から雇用をもってくるのは難しく、自らの地域で雇用を生み出すため、結果として失敗することもありうべしという研究や調査にも支援を行うべきではないか。

- 過疎集落は困っているから助けてあげるということではなく、中山間地域がつぶれてしまったらどのような不利益が全国でおこってしまうのかということをきちんと説明すべき。
- 上記のような話を踏まえ、本会として発表すべきもの、あるいは論点への回答として書き込むものを、峻別しながら整理していくべき。